

西区比良学区

災害避難行動マップ

災害時の連絡先

西区役所 523-4511~5
西消防署 521-0119
比良小学校 502-1377
比良コミセン 501-2682



気をつけて!

- 空き家** 耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険性あり
- 古いブロック塀** 大きな地震により倒壊する危険があるため近づかない
- 狭い道** 近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり
- 電線** 切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない
- ふたのない側溝** 大雨で道路が冠水した時、足を踏み外して転倒する危険性あり

指定緊急避難場所 命を守るために、災害の危険から逃げる場所

洪水・内水はん濫・高潮

- 比良小学校 2階以上
- 比良コミュニティセンター 2階以上

地震の揺れ

- 比良小学校 グラウンド

指定避難所 自宅が被災した時、一定期間避難生活を送る場所

- 比良小学校
- 比良コミュニティセンター

町内会の一時集合場所

我が家
の
町内会
組
集合
場所

災害時に役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど



このステッカーが貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」です。災害時の帰宅困難者にトイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

4. 下水道直結式

仮設トイレ WC

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



このマンホールが目印です。

5. 地下式給水栓

給水を確保するための設備で、使用時に必要な道具は小学校や中学校に保管しています。



6. 仮設給水栓

給水を確保するための設備で、災害時に上下水道局や協力企業が設置します。



凡例

- | | | | |
|--|-----------|--|-------------|
| | 指定緊急避難場所 | | 地下式給水栓 |
| | 指定避難所 | | 仮設給水栓 |
| | 広域避難場所 | | 下水道直結式仮設トイレ |
| | 一時集合場所 | | 公衆電話 |
| | 自治会倉庫 | | AED |
| | 地域防災協力事業所 | | 避難経路の例 |
| | 狭い道 | | ふたのない側溝 |

地震への備えと対応

日頃の備え

- 家具の転倒防止など耐震対策はできていますか
- 食料・飲料など非常持出品などの準備はできていますか
- 隣近所と顔の見える関係づくりをしましょう
- 日々災害が発生した場合のシミュレーションをしてみましょう
 - ・自宅内の棚や窓ガラス等から身を守る場所はどこか
 - ・自宅周辺の危険物・高い場所・広い場所は何かあるか
 - ・家族との連絡方法を確認(災害伝言ダイヤルやSNS等)

激しい揺れ (あわてない! 冷静に)

- 机の下などで頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

揺れがおさまった

- 火の元の確認、電気のブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉める出火したら逃げ口を背にして初期消火
- 家族の安否・自宅の状況を確認
- 非常持出品の用意や避難の準備



組内で安否確認・救助

- 隣近所に声をかけて安否確認
- 生き埋め者の救助活動・ケガ人の手当
- 助けが必要な場所に応援を求める



一時集合場所へ集合 (安否情報を持ち寄る)

- 町内の安否確認、被害情報の共有
- 救助活動や避難支援の協力



指定緊急避難場所へ避難

ブロック塀や建物の倒壊に注意し、安全なルートを通ってできるだけグループで避難

余震が続くとき

最寄りの避難先

比良小学校

- 小学校のグラウンドなど屋外の広くて安全な場所

火災が発生したとき

最寄りの避難先

洗堰緑地

- 広域避難場所など火災の延焼から身を守ることができる場所

震災の危険解消

自宅での滞在が可能か

○ 在宅避難

×

指定避難所

自宅に住めない
状況って?

- 家が倒壊、または余震で家が倒壊しそう
- 家中に物が散乱していて動くと非常に危険 など

最寄りの避難先

□ 比良小学校
□ 比良コミュニティセンター

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は多数の方が避難生活を送るために、大きな負担がかかることがや、感染症のリスクが高まることが想定されています。倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。



周囲に在宅避難を知らせよう!



隣近所で声かけし、食料や物資を分け合おう!

風水害への備えと対応

風水害時の行動

台風が発生した 情報収集

- ・テレビ・ラジオ・スマートフォンなどから台風の規模、予想進路、到達する時間や川の水位などの情報を入手
- ・非常持出品の確認

台風や大雨が来るぞ!! 準備

- ・ハザードマップで指定緊急避難場所や浸水想定区域等の確認
- ・家族との連絡方法の確認
- ・家の周りの飛ばされやすいものや、流れやすいものの片付け
- ・土のうや水のう、側溝の詰り除去等の浸水対策
- ・町内や組長との情報共有や連絡手段の確認をする



雨足が強くなってきた!! 避難の判断

- ・情報収集を続けて、避難開始時期を判断
 - テレビ・ラジオ等
 - 緊急速報メール
 - 防災スピーカー
 - 広報車等
- ・避難情報の発令前に指定緊急避難場所(小学校など)へ自主避難する場合には、事前に区役所へ相談する
 - 洪水・内水氾濫・高潮の想定浸水深より下の階にいる
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域にいる
 - 浸水継続時間が3日以上の地域にいる

どれか一つ以上
該当する

該当しない

簡易水防工法

浸水が浅い初期であれば、土のうや水のうを使った簡易水防工法で家中への浸水を遅らせたり、防いだりすることができます。事前に準備しておきましょう!

止水板による工法

長めの板と土のうを使用します。



簡易水のうと段ボール箱による工法

土のうや水のう(45リットル程度のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れたもの)を段ボール箱に入れて、レジャーシートで巻き込み、使用します。



台風の接近前や大雨の前に行います。危険が迫ってきたら速やかに避難を!

避難時の注意点

1 ひも付き運動靴で!
長靴は危険です!

2 隣近所に声をかけて、地域で助け合いましょう!



3 移動するときは、傘や長い棒などで足元を確認!

4 水かさが増してきたら、無理せず最寄りの高い所へ

地震・風水害共通 備蓄物資・非常持出品の準備

避難生活に必要なものを備蓄

電気やガス、水道などが止まても生活できるように7日分程度、家族の人数も考慮して備蓄しましょう。

- 非常食、常温で保存のきく食品
- 飲料水(ひとり1日3リットル)
- 持病の薬、常備薬
- トイレ用品
- 燃料(カセットボンベなど)



命を守るために必要な持出品を用意

いざというときすぐに持ち出せるように、3日分の食料や衣服など必要なものをリュックなどにいれて用意しましょう。

